



民生委員 だより

児童委員

発行 伊勢原市民生委員児童委員協議会

〒259-1188 伊勢原市田中348番地

編集 広報委員会

☎0463(94) 4718

ホームページ：『伊勢原市 民生委員』で検索 <http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2018053100033/>



民生委員児童委員は地域の身近な支援者です

＼ こんなことで困った時は... ／

一人暮らしが不安

健康が不安

気軽に

ご相談ください!

非常時の
避難が不安

子育ての
相談がしたい



神奈川県民生委員児童委員協議会 キャラクター「みんびよん」

あなたも

民生委員児童委員を やってみませんか

- 民生委員児童委員は、民生委員法・児童福祉法により、厚生労働大臣から委嘱されて活動しています。
- 任期は3年で、令和7年12月1日に一斉改選を迎えました。
- 自治会や行政などの関係機関と連携し、地域の絆づくりを進めています。



伊勢原市公式
イメージキャラクター
クルリン

民生委員児童委員について少しでも興味のある方は、伊勢原市地域福祉推進課にお尋ねください。

◆民生委員児童委員協議会活動強化週間

5月12日は「民生委員・児童委員の日」でした。



5月12日～18日の活動強化週間に、市役所1階市民ホールで「パネル展示」を行いました。

伊勢原市民生委員児童委員協議会の各地区ごとの活動内容を市民の方々へ知ってもらうことが目的でした。

また、「広報いせはら5月号」の一面や「いせはら社協だより」にも広く活動を周知する記事を掲載しました。



民生委員児童委員の連絡先

担当委員をお知りになりたいときは、事務局に連絡してください。

☎ 連絡先 伊勢原市役所 1階 地域福祉推進課 ☎94-4718(直通)

大山高部屋地区 25自治会

大山上、大山中、大山下、子易上、子易下、川上、ゞ引、峰岸上、峰岸下、ハイム上粕屋、峰岸団地、辻尾崎秋山、台久保、山王原、石倉、子易、一之郷中丸、宮下、宝地九沢長竹、原、日向の里、新田、洗水、坊中高橋、藤野

～オレンジ色のベストの新調～

さっそく保育クラブの募狩りにおそろいの出で立ちとなった。ユニホームから生まれる一体感の高まりは、定例会での丁寧な話し合いの力が大きい。



あいさつ運動

目立つ色は他の地区と重ならないか、動きやすさはやっぱりベストタイプか、年間計画を確認して戸外室内の着用場面、サイズ合わせに至るまで繰り返し意見を出し合って進められた。



保育クラブの様子

民生委員をお引き受けしたものの不安が大きかったスタート「出来ることから無理をせず」経験を積んだみなさんからのアドバイスや、毎回の定例会での丁寧な話し合いが役割を自覚させてくれた。長年続けられている保育クラブの取り組みが全国表彰をうけることになった活動にオレンジベストで一緒にできることに感謝している。

比々多地区 11自治会

神戸、串橋、笠窪、坪ノ内、善波、栗原、三ノ宮、白根、もえぎ台、大住台、ベルフラワーズ大住台

～「大切な人のために」災害・防災・減災を学ぶ～

地震！風水害！火災！猛暑！ 迫り来る災害は人間の都合を選びません。災害体験学習のため「神奈川県総合防災センター」を訪問しました。参加者から集まった感想として「アパートの住人、高齢者寝たきりの人への周知・具体的避難をどうするか」「避難のタイミングの難しさと身を守る難しさを実感した」「何より普段のご近所付き合いが大切だと感じた」「疑似体験が有効、誰もが体験すべきだ」などが集まりました。「学ぶことが防災の第一歩」だと再認識させられる体験学習となりました。



VRによる津波・土砂災害体験



児童コミュニティクラブでの活動

ご家族で見学し、備えについて話題にすることを勧めます。「比々多第一児童コミュニティクラブ」の見学では、エネルギーいっぱい子どもたちと明るい職員さんたちのやり取りを拝見。その後、運営についてお話いただきました。異年齢集団の良さと目を輝かせて活動する子どもたちの姿に、学校以外の居場所として寄り添ってくださり安全で安心な場所があるということの大切さを実感する研修となりました。

伊勢原南地区 20自治会

大原町、千津南、下大竹、谷戸大竹、池端、中尾、大向、馬渡、八幡台一区、八幡台二区、八幡台三区、原之宿、天王原、上平間台、沼目団地、星和マンション、ネオハイツ、平間台、木津根橋、サンクレイドル

～「信頼から安心・安全な暮らしへ」チームミナミンピョン～

「チームミナミンピョン いせはら」では、「学ぼう・知ろう(理解)・役立てよう」を3年間のテーマとして掲げ、地域に根ざした活動を続けています。

今年は活動3年目を迎え、地域や関係者の役に立つ活動を目指し、1・2年目の振り返りアンケートを実施、お互いの活動内容や課題を共有、そして、それを踏まえた新たな取り組みが始まっています。

12月からは新体制となります。新チームでより良き活動が行えるように、「見える化」を推進しながら、メンバー全員が力を合わせ、地域に貢献できる活動をめざしています。



公民館まつりにて

今年度のスローガン「信頼から安心・安全な暮らしへ」

地域の方々と信頼し合える関係を築き、それを通じて安心・安全な暮らしを実現することを目指します。



保存食の配布にて

伊勢原市の民生委員児童委員活動

伊勢原市の民生委員児童委員の定員は、144人です。このうち自治会の範囲を基本に地区で活動する委員が131人、児童を専門とする主任児童委員が13人となっています。

各委員は、6地区に分かれ、個人活動だけでなく、地区全体での活動も行っています。

ここでは各地区の様々な活動をご紹介します。

地区名	委員総数	★
伊勢原北	27人	2人
伊勢原南	33人	2人
大山高部屋	21人	2人
比々多	16人	2人
成瀬	34人	3人
大田	13人	2人
合計	144人	13人

★は委員総数内における主任児童委員の人数。



主任児童委員

～子どもたちの笑顔を願って～

私達は、児童福祉を専門に担当する委員です。市内小学校の学区ごとに13名で、18歳までのお子さんや、お父さんのいるご家庭の困った時、大変な時に必要な支援ができるよう、学校や関係機関と連携し、月に一度、様々な研修をしています。

今年度は「おはなレクリン」の活動を再開。県立子ども自立生活支援センター「みらい」の幼い子ども達の笑顔に出会えました。様々な事情を抱える子ども達ですが、大型絵本の読み聞かせやボール遊びなどを一緒にして、帰りには小さな手でハイタッチまでしてくれて、無邪気な笑顔を沢山見せてくれました。赤ちゃんもいて抱っこした温もりは忘れられません。どうか元気にすくすく育ってほしいと願うばかりです。また、子ども達を愛情いっぱい育てていらっしゃる職員の方々には、本当に頭が下がる思いでした。この思いを胸に私達も子ども達の成長を支えていけるよう日々活動してまいります。



「おはなレクリン」活動

成瀬地区 20自治会

下糟屋、東富岡、粟窪、前高森、北高森、小金塚、石田、見附島、下落合、高森台、東高森団地、あかね台、南落合、白金山団地、みどり、リパティタウン伊勢原、すみだ、リパティタウン伊勢原第2、アイリスの丘、東成瀬

～『情報を共有して地域を守ろう』～

昨年8月の豪雨災害では市内各地に避難指示が出されました。成瀬地区には自然災害による危険地域が多数あります。災害時の要避難支援者の対応には特別な配慮が必要な場合があり、自治会、民児協、包括支援センターが事前に情報を共有しておくことが大切です。

今年度は自治会連合会で改選により6割の自治会長が交代されましたので、民児協、包括支援センターの活動をより多く知っていただき、共有した情報が地域のさまざまな活動に生かせるよう、成瀬地区自治会連合会、民児協、東部・北部包括支援センターが合同で意見交換会を実施しました。活発な意見が交わされお互いに理解が深まった意見交換会となりました。私たちも新たに選任された委員と共に地域の方に寄り添った活動をしていきたいと思ひます。



意見交換会

伊勢原北地区 15自治会

伊勢原上、伊勢原第三、伊勢原第四、片町第一、片町第二、七区第二、駅前第一、千津北、金山、池端坂戸、田中、坂戸第一、坂戸第二、坂戸第三、アメニティ坂戸

～いざという時に動けるように～ 救命講習受講

地域の様々な場所でAEDを目にすることが増えてきましたが、いざ自分が使えるかと問われると、自信がないというのが現状です。

北地区は昨年に続き二度目の救命講習を受講しました。AEDの使い方、心肺蘇生法、のどにものを詰ませたときの対応など多岐にわたり実技を交え学びました。二度目の受講でしたが手順を忘れていた部分が多く、繰り返し練習せねば身につかないと感じました。



また、もし万が一の時自分しかいなかったら・・・と皆想像するのでしょうか。活発に質問がかわされました。民生委員は日々の活動の中で高齢者や地域の方と接する機会が多く、緊急時に居合わせる可能性もあります。万が一の場面に遭遇しても落ち着いて対応できるよう今後も学びを続けていきたいと思ひます。



実技の様子

大田地区 11自治会

上谷、下谷、沖小稲葉、西屋、新屋、下小稲葉、上平間、下平間、東沼目、西沼目、つきみ野

～大田地区の災害リスク知って安全を確保しよう～

今年度の地区研修は、来年実施される市の防災訓練が大田小学校になるので、それに先駆けて危機管理課の協力を得て8月1日の定例会後防災研修を行いました。

研修では、大田地区は標高が低くしかも地盤がゆるいため液状化が起きやすい事。大雨の時は道路の冠水がいたるところで見られます。又、洪田川、歌川があり特に豪雨の時、洪田川は県内で1番に水位が上がって氾濫の恐れがあると知りました。

質問時間では、身近な避難場所、大田小学校や備蓄倉庫は浸水災害を受けやすく対策を考えて欲しいと要望が出たり、豪雨災害時の避難場所については地域別に伊勢原中学校と石田小学校になっており遠方で避難しにくいと意見がありました。

講義後は、大田小学校の防災備蓄倉庫を見学しました。隣には点滴等が入っている災害医療備蓄倉庫もあり初めて知る人が多かったです。

今回の研修で「災害に備える民生委員児童委員活動10か条」を今一度見直し対応していきたいです。



研修の様子



災害備蓄倉庫

民生委員児童委員の活動実績

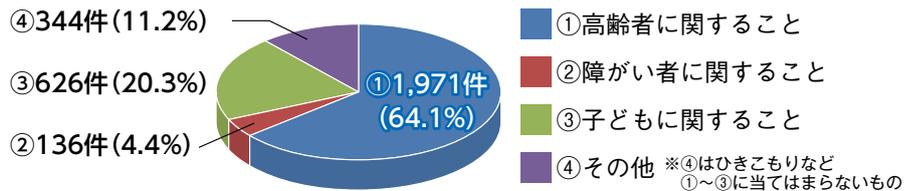


年末たすけあい募金の様子

民生委員児童委員は、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮など、福祉的な支援が必要なときの相談や地域での見守りなどの活動をしています。

また、小中学校の登下校見守り活動、福祉施設などでのボランティア、地元自治会との地域課題に関する意見交換などさまざまな活動の実施や協力なども行っています。

令和6年度活動実績 相談・支援件数 (3,077件)



令和6年度の活動実績は相談・支援活動が合計3,077件あり、分野別では、高齢者に関するものが1,971件と一番多く、その他には障がい者に関するものが136件、子どもに関するものが626件、その他が344件になりました。

また、年間活動日数は総数で21,516日、一人当たり約150日になりました。昨年度と同程度でした。例年一人当たりの活動は150～160日程度のため、コロナ禍以前まで活動日数が回復しています。

専門部会の活動について

各地区の民生委員活動には、地域の見守りなどの活動だけでなく、それぞれ児童福祉専門部会、障がい者福祉専門部会、高齢者福祉専門部会といった専門部会を設けています。

それぞれの部会の立場から、話し合いや研修会を実施し、地域のこれからを考えた活動もしており、各民生委員は3年の任期の間にすべての部会を経験します。

本年度の専門部会研修内容

以下内容について、民生委員児童委員としての関わり方や現状の制度や状況等を学びました。当日は活発な質疑応答も行われ、様々な地域の委員同士による情報交換ができました。

部会	主な研修内容
高齢者	伊勢原市の高齢者福祉の制度と状況について おたっしや情報誌の内容の学習
障がい者	障がい者福祉の現状について 障がい者に対する災害対策
児童	子どもたちの抱える問題や課題へ民生委員として どのように関わるか 伊勢原市内における不登校の現状について



高齢者福祉専門部会の研修の様子

広報委員会

編集後記

委員長	菅 重男 (大山高部屋)
【地区担当】	二宮千佳子 (伊勢原北) 松田 敦子 (伊勢原南)
	笠原ヨシ子 (大山高部屋) 小華和三舟 (比々多)
	北村千代子 (成瀬) 宮脇ひろみ (大田)
【高齢者福祉専門部会】	柳田 謙司 (成瀬)
【障がい者福祉専門部会】	亀井 光代 (大田)
【児童福祉専門部会】	佐久間佳代子 (大田)
【主任児童委員】	福岡 敦子 (伊勢原北)

人々が暮らす社会の中で生活上、支援が必要な種類と実態を知るために、今年も民生委員児童委員・主任児童委員は福祉に関する研修・実情を関係機関の聞き取りなどの活動をしてまいりました。多様化する社会で期待に答えられるために努力する思いを込め、この誌面でご案内させていただきます。